

セルフモニタリング報告書(令和5年度分)

令和6年4月5日

施設名 苦小牧市大成児童センター

指定管理者名 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

所管課名 健康こども部 青少年課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	感染症対策期間後は以前のように日常活動や行事を開催していくことが出来ました。センターの利用者の声や、地域の特性を考えて、行事や日々の活動の内容を検討して実施していくなど地域と共にある運営を意識しました。	A・ (B) ・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	感染症対策期間後は依然と比べて児童クラブの登録者数が減少しており、センターを日常的に利用する児童も減少しました。そのような状況の中でしたが、日常的な遊びに使用する遊具等を新たに取り入れ、児童の遊べる選択肢を増やし、それを体験した児童が友だちを誘って来館するといった良い循環も生まれました。	A・B・ (C) ・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	事業内容をより良くするため、今までと同じ事業でも反省点を活かし、より参加者が楽しめるように工夫をしました。土曜日をスマホ・ゲームの利用が出来る日に設定したところ、児童が集まり楽しんでいる様子が見られました。	A・ (B) ・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	近隣の保育園・幼稚園と良い関係が出来ており、午前中の団体利用が多くありました。町内会ともセンター祭りなどの行事で協力していただ	A・ (B) ・C・D・E

	<p>く等、良い関係が築けています。地域の高齢者の方の色塗りサロンの定期的な開催や、センターの畑づくりにもご協力いただきました。</p>	
<h2>2. 利用者の満足度</h2>		
<p>利用者の満足が得られているか。</p>	<p>利用者アンケートでは満足度98.2パーセントの高評価を頂きました。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>
<p>利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。</p>	<p>利用児童との日常会話などから児童の本音を聞くことや、アンケートなどで児童の要望の収集、行事等を考える際も、以前の参加者の感想などを拾い運営に活かしました。</p> <p>保護者が来館した際は、日常会話をしながら色々な意見や要望などを聞くように心がけました。</p>	<p>A・Ⓑ・C・D・E</p>
<p>利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。</p>	<p>利用者からの意見・要望・苦情に関しては、情報を全職員で共有し、青少年課にも相談の上で対応を行いました。利用児童・保護者とは日常的にコミュニケーションを取ることで信頼関係の構築に努めました。</p>	<p>A・Ⓑ・C・D・E</p>
<h2>3 管理運営の効率性</h2>		
<p>経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。</p>	<p>指定管理終了による物品の購入に伴い支出が増加していますが、ボランティア団体や社会福祉協議会を通じた賛同者の御協力で行事費の削減が出来ています。また、館内の修繕や夏季の草刈り・冬季の除雪作業も可能な限りスタッフがを行い、経費の削減を図っています。物品の購入は本当に必要かどうかをしっかり検討したうえで購入をしました。</p> <p>水光熱費についても必要に応じてこまめに消灯し、冬場の暖房も館全体の利用状況をみて対応しました。</p>	<p>A・Ⓑ・C・D・E</p>
<p>一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。</p>	<p>外部委託業務は地元業者に依頼し、金額も適切な水準を保っています。</p>	<p>A・Ⓑ・C・D・E</p>

<p>収入増加のための取組はされているか。</p>	<p>指定日以外の貸館申請に対してはシフト変更によって対応し、少しでも収入が増加するよう工夫を行いました。</p>	<p>A・B・C・D・E</p>
<p>4 適正な管理運営</p>		
<p>職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。</p>	<p>外部研修へはほとんど参加できませんでしたが、児童に伝えるために遊びなどの情報を全職員で共有して対応できるようにしました。</p>	<p>A・B・C・D・E</p>
<p>安全対策（事故防止等）は十分だったか。</p>	<p>日常活動では館内の状況を見ながら遊ぶ場所、内容を児童と検討しており、不慮の事故などが起きないように工夫しましたが、人員配置が不適正だった期間は、開館中に職員配置が不足していた時間があり、結果的に安全対策が十分ではない時間帯がありました。</p>	<p>A・B・C・D・E</p>
<p>人員配置及び職員の管理体制は適正か。</p>	<p>仕様書に定められている人員配置を一部満たしていない実態があり、7月まで適正な運営が実施できていませんでした。8月以降は人員の適正配置及び法人地方本部による職員配置状況の確認を行い、適正な運営を行いました。</p>	<p>適・不適</p>
<p>施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。</p>	<p>ホームページでの広報やふわふわ遊具の定着により、遠方の乳幼児の保護者が利用することが増えてきました。また、行事に参加しやすいようにほぼ全ての行事において電話申し込みを可能にするといった工夫も行いました。</p>	<p>適・不適</p>
<p>利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。</p>	<p>個人情報に記載されている書類は鍵のかかるロッカーに保管し、そのカギをさらに保管ボックスにて施錠管理（二重施錠管理）しています。新聞等に写真や記事が掲載される場</p>	<p>適・不適</p>

	合は保護者に確認を取り、内容をチェックの上許可するようにしています。	
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	入出金時には逐次チェックを行い、法人本部管理の経理システムに入力を行うことで適正な会計処理を行っています。	①・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検は外部業者に委託して適切に管理を行いました。 日常の館内保守点検に関しては、毎日スタッフが点検表に沿って行い、利用者に安全・安心してもらえよう努めています。	①・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	書類は年度・項目ごとにファイリングの上、保管庫において管理し、備品においても故障・補充について青少年課に速やかに報告し、適正に管理しました。一方で労務に関する書類が一部整備されておりませんでした。	適・②
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	人員配置について、仕様書に定められている内容を一部満たしていない実態があり、7月まで適正な運営が実施できていませんでした。 8月以降は協定書及び仕様書を遵守し、人員配置の適正化や法人地方本部の管理体制を整え、適正な運営を行いました。	適・②
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	資材調達や外部委託は可能な限り地元業者をお願いしています。雇用に関しては全職員が苫小牧在住であり、館内清掃では市内在住者の就労支援の協力も行いました。	③・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

人員配置が不適正となってしまったことについて、児童の少ない時間帯に職員を少なく配置し、代わりに児童の多い時間帯に職員を多く配置していたことが大きな要因となっており、手厚い人員配置によるサービスの向上という部分はありましたが、本来配置すべき時間帯の職員配置が欠如してしまいました。今後は法令・協定書及び仕様書を遵守し、職員研修や巡回指導を行い、組織としての管理体制の強化を行います。

また、人員配置が不適正だったことと合わせて労務に必要な書類が一部整備されていませんでした。問題発覚後には直ちに是正し、必要書類の作成を徹底しています。

指定管理者の自己評価(全体を通して)

年度途中の昨年 7 月に、センター職員の人員配置について不適切な運営を行っていたことが発覚しました。問題発覚後は直ちに是正を行い、8 月以降は適切な人員配置による運営を行いました。関係機関の皆様、利用する子どもたちや保護者の皆様にご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

センターの運営について、感染症対策期間以後は通常のセンター運営に戻りましたが、日常利用の人数はあまり戻らず、児童クラブの登録人数も減ったこともあり、センター全体としては静かな日々が多かったと感じています。その中で、日々の活動に新しい事を取り入れることや、大きな行事を開催していくことで徐々に利用人数が増加したことや、地域の方との交流が出来るようになりました。年度の後半は、高学年の利用者も多くなったことで高学年向けの遊びや全学年と一緒に遊べる内容のゲームを取り入れるといった工夫を行い、今までの良い所を残しながら、新しい事を取り入れていきました。また、年間を通じて近隣の保育園・幼稚園の団体利用が多くなり、一般利用の方と一緒に遊ぶなど、センターが賑やかになる日もありました。団地の真ん中にある児童センターという立地条件もあり独特の地域性がありますが、今までも地域の方と繋がりイベントの協力や色々な情報などを共有することが出来ていたため、今後も地域の中の児童センターという事をふまえて運営していくことが大切であると考えます。

利用者満足度は今回のアンケートでも良い評価を頂きました。職員の対応についても良い評価を頂いたため、それに慢心せず日々の対応において反省点を見出し向上していくことが必要だと感じました。また、利用者の方との日常的な会話などを通じて要望や不満に思っていることなどをくみ取り、運営に反映することが大事だと考えています。

貸館については 2024 年に入ってからほとんど利用がありませんでしたが、ホームページなどで調べた方が来館されて「静かで利用しやすい」という意見を頂いたこともあり、貸館も含めて利用できることをしっかり周知することが必要だと感じています。

安全管理・保守管理については、清掃の際や日々の活動で危険なところはないか確認を行い、不具合を見つけた場合は速やかに対処して、利用者が安全に過ごせるような環境管理を行いました。